



練馬区立石神井西中学校

第2学年 学年通信

令和2年12月25日(金)発行

第46号 ～太陽の学年～



明日は終業式です。

長かった2学期も明日の終業式を残すまでとなりました。先週は行事後の生活に課題が残りましたが、今週は授業や給食や当番など目の前のことを丁寧に一生懸命取り組むようすが見られました。今後も日々の小さな当たり前を見過ごすことなく、正しい生活を送りましょう。

最近のようす

終業式をひかえる最後の1週間でした。朝の登校や授業の受け方など見直す生徒が多くいました。



キレイキレイ週間

いつもより丁寧な掃除を心掛けてました。



学年道徳(水曜日)

学年全体で“幸せ”について考えました。



総合(木曜)

3年生が実施したビブリオバトルを視聴して投票しました。

今後の予定

日付	内容	日付	内容
1/4(月)		1/11(月)	成人の日
1/5(火)		1/12(火)	通常6時間
1/6(水)		1/13(水)	通常6時間 ⑥道
1/7(木)	冬季休業日終	1/14(木)	通常6時間 ⑥総
1/8(金)	始業式 通常6時間 <u>式服登校</u> 給食あり ①学 ⑥総	1/15(金)	通常6時間 中央委員会 ⑥総
1/9(土)	授業日 3時間 ③道	1/16(土)	休業日

<コメント欄>

意見文紹介

Ver. 29 伊藤先生より

ほめられて育った人

～ほめること、叱ること～

ほめられても、怒られても、どう受け取るかだと私は思う。

私はネガティブ思考なので、ほめられても「お世辞だろうな。」とやさぐれてしまう。怒られても、ひねくれた受け取り方をするのだ。

でも、どんなに怒られても、ボロクソに言われても、それをバネにして成長できる人はいる。つまり、ポジティブに受け取れば、大きな力になる。

私はほめ言葉をネガティブに受け取って勝手に落ち込んでしまう。そんなのは身勝手だし、成長できないのも当たり前だ。私がこれから成長していくためには、ほめ言葉を素直に受け取り、ボロクソに言われたら、それを力にして原動力にしなければならないのだ。(B組女子)

私の場合、正直なところ叱られて育ったと思います。人は叱られて学ぶと誰かから聞きました。

最近では、都大会に行ってそのことを親に言う「すごいじゃん」と予想以上にほめられました。その時は本当に嬉しくて号泣レベルでした。しかし、その反面ほめてもらいたくてもほめてもらえない時がありました。約1年前、「西中で行われたダンス大会で1位とったよ」と言ったら、「見に行っていないから分からないな～」と言われて少し残念でした。

何か悪いことをして親や先生方に叱ってもらおうということは、自分はまだ見捨てられていないという優しさです。叱られているときは、「またやり直せよ」と思ってくれている親や先生方の優しさのあらわれだと私は思います。(E組男子)